

福岡市保健福祉審議会局高齢者保健福祉専門分科会 第1回介護保険事業計画部会 議事録	
日 時	令和8年6月23日(火) 18:00~19:00
場 所	エルガーラホール7階 多目的ホール
出席者:別紙のとおり	
I 開会 II 議事 (1)部会長、副部会長選出について (2)介護保険事業計画部会の審議事項について (3)福岡市の介護保険制度の現状について (4)被保険者数、要介護認定者数の推計について (5)日常生活圏域について (6)介護サービス基盤の整備量について III 閉会	
事務局	I 開会 <会議成立の報告> <委員紹介> <事務局紹介> <会議資料の確認> II 議事 1 部会長及び副部会長選出について
事務局	<委員の互選により、部会長に田中委員、副部会長に袈裟丸委員を選任> 2 介護保険事業計画部会の審議事項について
部会長	それでは介護保険事業計画部会を進めたいと思います。委員の皆様におかれましては、円滑な議事進行にご協力いただければと思います。また、せっかくですので積極的にご意見をいただきたいと思います。 では、議事の2、『介護保険事業計画部会の審議事項』につきまして、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	【資料 1-1】第 10 期介護保険事業計画について 説明 【資料 1-2】介護保険事業計画部会(全 3 回を予定)の審議事項について 説明 資料の説明は以上でございます。
事務局	詳細な説明ありがとうございます。今事務局の方から説明がありました件につきまして、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

	ご質問、ご意見等がないようでしたら、「介護保険事業計画部会の審議事項」に関する議事を終了いたします。
	3 福岡市の介護保険制度の現状について
部会長	続いて議事の3、「福岡市の介護保険制度の現状」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	【資料2】福岡市の介護保険制度の現状について 説明 資料の説明は以上でございます。
部会長	ありがとうございます。事務局からの説明につきまして、ご質問、ご意見ございませんか。
委員	資料の2ページに記載の軽度の認定者数が4.85倍でとても増加していますが、これはどのように見たらよいのでしょうか。地域のサロン活動などがあまり上手くいってないために、介護保険サービスの利用を第一選択にしているのか。それとも、家族関係も含めてですが、地域の関係性が希薄なので、地域で見るような現状ではないため介護保険サービスを使ってくださいということで、早い段階でのサービス利用に繋がっているのか、市として把握されていることがあれば、教えていただきたいと思います。
事務局	明確なデータ的なものではないのですが、やはり高齢化が進展しておりますし、単身高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。先ほど委員が言われたように、家族と離れて暮らしているため頼れず介護保険サービスが利用されているという状況もあるかと思えますし、介護予防把握事業などの支援が必要な軽度の方を早期に発見する取り組みを行っていますので、その辺りが関係していると考えているところです。
委員	最近、認知症フレンドリーセンターの中で、若年性認知症の方の集まりがあり、その参加者が増えてきているような話も聞いているのですが、若年性認知症の方が増えているというデータはありますか。
事務局	申し訳ございません。手元にデータがございません。次回までに準備いたします。
部会長	ひとまず肌で感じているようなことがあれば、いかがでしょうか。
事務局	若年性認知症ではないですが、グループホームの整備を進めていまして、認知症の方たちはやはり増加しております。そういった意味で若年性認知症の方も、多少なりともその影響はあると感じています。
部会長	ありがとうございます。委員からの確認については、情報収集に当たっていただければと思います。ご質問、ご意見等がないようでしたら、今の審議で、「福岡市の介護保険制度の現状」に関する議事を終了いたします。

	4 被保険者数、要介護認定者数の推計について
部会長	続いて、議事 4、「被保険者数、要介護認定者数の推計」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	【資料 3】第 10 期福岡市介護保険事業計画における高齢者数の推計 説明 【資料 4】第 10 期福岡市介護保険事業計画における要介護認定者数の推計 説明 資料の説明は以上でございます。
部会長	説明ありがとうございます。今ご説明がありました内容につきまして、ご意見、ご質問等はありませんか。感想でも結構ですし、実際に現場から見て、何かご意見等がありましたら、ぜひ仰っていただければと思います。
委員	部会長がおっしゃるように、すごく見やすく、どこに注目したらいいか分かるのと、こういった統計の方法があることを初めて学びました。差が少ないと思ったのですが、現場にいるものとしては、介護度、年齢、人口の割合は、推計のもとになると思うのですが、やはり認知症があるかどうかや独居かどうか、最近だとサービス付の高齢者住宅に入っているかどうかで、利用するサービスの量がかなり変わるのではないかと思います。ですので、そういうことが読み込まれた上での推計かもしれないのですが、今後かなり単身の方が増えると考え、少ない誤差だったものが大きくなっていくこともあるのかと思いました。
事務局	単身の高齢者が増えるというのは、今までも福岡市では顕著に現れておりましたし、そういったものはこれまでの実績に含まれていると考えて推計しています。ただ今回は、コロナ禍があり少し異常値が出ていましたので、直近 2 年間で算定いたしました。そういった意味では直近の状況を反映した推計になっていると考えています。
部会長	ありがとうございます。第 10 期の要介護認定者数の推計方法を 2 年間にするか 5 年間にするか、大きな決断だったと思います。9 期と比べて 3 年分減る中でいろんなシミュレーションをしながら、2 年間で算定したという事でした。ご質問、ご意見等がないようでしたら、被保険者数・要介護認定者数の推計に関する議事を終了いたします。 5 日常生活圏域について
部会長	続いて議事の 5、日常生活圏域につきまして、事務局の方から説明をお願いいたします。
事務局	【資料 5-1】日常生活圏域について 説明 【資料 5-2】日常生活圏域別 高齢者数等の状況、及び地域密着型サービス

	整備状況 説明 【資料 5-3】特別養護老人ホーム整備状況(日常生活圏域別) 説明 資料の説明は以上でございます。
部会長	ご説明ありがとうございます。今の説明につきまして、ご意見、ご質問等はございませんか。
副部会長	日常生活圏域について、私どもでは、いきいきセンターを 19 か所運営しております。今、中学校区単位を基本に、福岡市全体では 59 圏域において事業が実施されております。地域によって差はありますが、地域ケア会議や介護予防関係の取り組みなども着実に進んでいると考えられますので、現在の圏域を維持することがよろしいのではないかと考えております。
部会長	貴重なご意見ありがとうございます。59 圏域の中でも要介護認定率にかなり幅がありますので、今伺った意見等を参考にさせていただきたいと思います。他、ご意見、感想等ございませんでしょうか。ご質問、ご意見等ないようでしたら、「日常生活圏域」に関する議事録を終了いたします。 6 介護サービス基盤の整備量について
部会長	では、最後の議題になりますが、議題の 6、介護サービス基盤の整備量につきまして事務局の方から説明をお願いいたします。
事務局	【資料 6-1】介護サービス基盤整備について 説明 【資料 6-2】第 10 期計画期間における介護サービスの整備目標量について 説明 【資料 6-3】第 10 期介護保険事業計画における特別養護老人ホームの整備数について(案) 説明 【資料 6-4】第 10 期介護保険事業計画における認知症高齢者グループホーム及び特定施設入居者生活介護の整備数について(案) 説明 【資料 6-5】有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の利用状況 説明 資料の説明は以上でございます。
部会長	詳細な説明ありがとうございます。ご意見、ご質問等はございませんか。岩城委員、何かございませんか。
委員	第 9 期介護保険計画の中で、小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護については、75 事業所を整備する計画が 62 にとどまっています。行政として、達成できなかった理由や、作りにくいと思うような理由は、何か想定されています

事務局	か。 事業者団体の方からは、認知度がなかなか高まらず、利用が十分に進んでいないことや、国の介護報酬では中重度の要介護の利用を想定していますが、実際は比較的軽度の利用者の方が多いということで収支が合いにくいという指摘が上がっています。 福岡市といたしましては、応募可能圏域の制限を緩和する公募要件の見直しや、小多機、看多機は県が出している補助金に加えて市独自で上乗せ補助するなどにより、引き続き整備促進を図っていきたいと考えています。
委員	小多機の認知度の低さは、本当に大きな課題だと思っています。5月の国の給付費分科会でも認知度の低さや地域包括支援センターでも十分に把握されていない事業所や場所もあるという資料も上がっていました。福岡市のホームページに掲載されている「介護保険を申請して利用するまでの流れ」には、相談先として、いきいきセンターや居宅介護支援事業所が案内されています。小多機や看多機も最初の相談窓口として受けられるような体制があるのですが、行政側も含めて認知が足りないのではないかと思います。市のホームページにも、いきいきセンター、居宅介護支援事業所のケアマネに加え、小多機、看多機も相談窓口として利用できることを記載して欲しいと思います。 また、区役所で無料配布しているハートページには小さく小多機や看多機も相談窓口として書いているのですが、WEB版を見ると、相談窓口は居宅介護支援事業所しか表示されません。小多機が最初の窓口としても受け入れが可能であることを周知していただけたらありがたいと思います。
事務局	ご指摘ありがとうございます。市のホームページに載っていないとのこと、大変失礼いたしました。至急確認いたします。 ハートページWEB版につきましても確認いたします。ご意見ありがとうございます。
委員	資料6-4の第10期のグループホームの整備に関してですが、整備量の③番、令和8年度現在の廃止予定63人分と記載がありますが、このグループホームを廃止する理由はわかりますか。
事務局	様々な要因があるかと思いますが、人材不足や建物の老朽化により、廃止ということになっているようでございます。
委員	今、人材不足というお話がありましたが、箱や事業所を増やすことは、高齢者人口が増える上で、大切なことだと思いますが、働く人材が少ないのが、現状でもあります。事業所だけでなく福岡市としても横串を入れながら、新たに人材を獲得したり、他の業態から転職を促したり、そういうことも一体的にやらないと箱が増えても働く人はいなくてユニットを閉鎖したという話も、現場でよくある話なので、連携して行っていただくとありがたいです。
事務局	介護サービス基盤の整備は、日常生活圏域や今後のサービス利用者数の増加などを見据えて整備数を定めていますが、介護人材の確保は、これらの基盤整備も含め、将来にわたって介護サービスが必要な人たちに提供されるよう、非常に大事な課題として

委員	取り組んでいく必要があると考えています。国内外を問わず、新規人材の就労支援を進めるとともに、人材の定着にもしっかりと取り組んでまいります。 小多機の認知度向上のためには、病院のソーシャルワーカーに対する周知が重要だと感じています。実際に、ソーシャルワーカーが小多機をご存じなかったり、どのようなサービスを利用できるのか十分に理解されていなかったりするため、利用者への提案につながっていないケースがあるように思われます。 ソーシャルワーカーの方は、まずケアマネを指名すれば対応できると考えられていることも多いのですが、その後、小多機の利用が適しているのでは伝えると、そのようなサービスについて知らなかったとおっしゃる方も多いです。ソーシャルワーカーの入れ替わりも激しい時代になってきているのですが、認知度を上げるためには少し医療の理解も必要と思っています。
事務局	ご指摘ありがとうございます。福岡市では小多機のパンフレットを作成しており、それを区役所や情報プラザなどに置いていますが、ご指摘のありました病院など、どこまでできるか分かりませんが、周知を検討したいと思います。 また、市政だよりへの掲載や、少し前の話になりますが令和元年に市民向けのフォーラムを開催したほか、令和５年度、令和６年度にケアマネジャーの会合で紹介をさせていただきましたので、そのような取り組みも含めて、小多機の認知度向上について検討したいと思います。
部会長	よろしいでしょうか。ご質問、ご意見等がないようでしたら、「介護サービス基盤の整備量」に関する議事を終了いたします。
部会長	以上で本日の議事を終了とさせていただきます。介護保険の問題は、行政でできること、各事業者でできること、法曹界、我々教育分野でできることを、工夫していかないと、福岡市はまだ人口が増えているからいいですが、私も色々な事業に関わっていますが、人口が減少しているところは本当にアイデアを絞っても人が集まらない状況にあります。次の第２回に向けて、皆さんと活発な意見交換を行えればと思います。色々ご意見をいただき、ありがとうございました。以上で本日の議事を終了とさせていただきます。事務局へお返しします。
事務局	Ⅲ 閉会 <閉会の挨拶>

【別紙】出席者一覧表

1. 介護保険事業計画部会 委員（※五十音順）

氏 名	役職・専門分野等
岩城 和代	弁護士
袈裟丸 政憲	福岡市介護保険事業者協議会
田中 康雄	西南学院大学教授
香月 真	Roren 主宰
上坂 美紀代	ケアプランセンターうさぎ管理者／ケアマネジャー 福岡市ユマニチュード地域リーダー
宮川 伸吾	特定非営利活動法人なごみの家 理事長

2. 福岡市（※組織順）

氏 名	所 属
平野 康則	福岡市福祉局高齢社会部高齢社会政策課長
山本 圭一	福岡市福祉局高齢社会部介護保険課長
平川 卓浩	福岡市福祉局高齢社会部事業者指導課長
吉村 史子	福岡市福祉局生活福祉部地域包括ケア推進課長